

ローンボウルズ

NPO 法人ローンボウルズ日本事務局

競技方法

ローンボウルズとよく似た種類のゲームには、ペタンクやポッチャがあります。カーリングもそのひとつで、ゲームのエッセンスを氷上に移したものです。ローンボウルズの特徴はボウルの重心が偏っている、偏心球であることです。そのため、ボウルのスピードが遅くなるにつれて弓形の大きなカーブを描きながら転がります。ボウルが描くカーブと芝の状態を予測しながら、できるだけジャックに近づけて停止させることに、難しさと面白さがあります。

- Lawn Bowling 101 (ローンボウルズ)



ゲームは、幅約 5.5m×長さ約 35mの長方形の専用コート（リンク）で行われます。一般的な競技場（グリーン）は約 35m 四方に作られており、そのスペースを 6 または 8 等分します。各スペースはリンクと呼ばれ、1 リンクで 1 競技が行われます。

競技は全4種類。1対1（シングルス）の個人戦から、2対2（ペアーズ）、3対3（トリプルズ）、4対4（フォアーズ）のチームプレイまであります。競技する人数や使用するボウルの数が増えると、ただジャックに近づけるだけでなく、相手のボウルをはじいたり、ブロックしたり、ジャックを移動させたりするといった戦略も必要になります。

ルール

- 競技の進め方

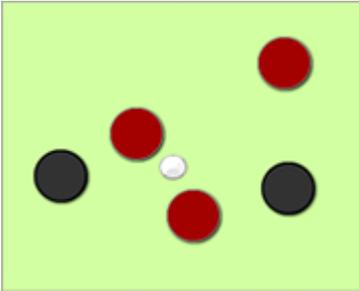
A（黒）対B（赤）というシングルのゲームを例にとって説明します。シングルスでは1プレーヤーが4球のボウルを使用します。

- 1) トス（じゃんけん）などで先攻を決めます。例ではA（黒）が先攻とします。
- 2) Aがジャックを転がし、目標球の位置を決めます。
- 3) Aが1球目を投球。
- 4) B（赤）が1球目を投球。
- 5) Aが2球目を投球。
- 6) Bが2球目を投球。

…以下同様にして、両者が4球ずつ投げ終わったら、1エンド終了です。ジャックの周囲のボウルの配置から、そのエンドの得点を数えます。

- 得点のつけ方

1 エンド終了時点で、ジャックの周囲には下図のようにボウルが停止していたとします。黒い円はAのボウル、赤い円はBのボウル、白い円はジャックを表しています。



赤のほうが黒よりジャックに近い位置で停止しているので、得点権は赤にあると判定されます。

次に、得点権のない黒のボウルのうち、ジャックに一番近いボウルを探します。図では左端の黒ボウルになります。この黒ボウルよりもジャックに近い赤ボウルの数が赤の得点になります。この例では、赤に2点が入り、このエンドは、2対0で赤の勝ちとなります。

- 勝敗

国際大会では、シングルスでは21点先取したほうが勝ちとなります。また、ペアーズ、トリブルズ、フォアーズでは18エンド繰り返し、各エンドで獲得した得点の合計点で勝敗を決めます。長いときには1ゲームに約3時間かかります。国内競技会では1試合8~12エンドが一般的で、70~90分ほどかかります。